

NIE実践例・実践報告書イメージ

実践指定校の教師に登録いただいているNIE実践例のページを、「新聞を活用した教育実践データベース」として、2016年春にリニューアルしました。項目や情報を追加、整理したうえで、広く一般の教師にも閲覧いただけるような見やすく使いやすいデザインにするとともに、使用教科書などの情報も加味して、実践例がデータベースとして有効に機能するよう、検索機能を強化しました。

今後、「実践報告書」をNIEサイトで公開する地域の学校に関しては、同データベースの実践例ページからも実践報告書に掲載された当該校の取り組み（PDF）を見ることができるようになります。実践指定校の取り組みがこれまで以上に伝えられる仕組みとしますので、「実践報告書」の公開とともに「実践例」の登録についても推進いただければ幸いです。

「新聞を活用した 教育実践データベース」用 実践例登録



高語活動の充実を目指した新聞活用

実践したのは 伊予市立長枚中学校 (いたみしりつあまきちゅうがっこう)

実施年度 2015年度

教科、科目、領域 中学校：総合学習、特別活動、その他(学習タイム)

学年 中学1年、2年、3年

使用教科書発行会社

単元名 高語活動の充実を目指した新聞活用

ねらい 読解力・表現力の育成

新聞活用のポイント 新聞作成のポイント、レイアウトの仕方

実践内容

(1) 朝日新聞の天声人語を10分の学習タイムを使って1通読で完成させる。(2) 行事のあとには新聞を総合学習の時間に書き上げる。(3) 新聞の要約や1分間スピーチコンテストを行う。(1)～(3)で、高語活動の充実を図る。

月～金の総合学習(10分) 総合学習

学習活動

新聞作成、1年次は6人班で林鶴学園新聞を作成する。1人1つ記事を書いたことをもとに記事を審査。1つの新聞を協力して作成する。2年次はヤルフィード新聞を作成する。各事項で学んだこと、体験したことを新聞の欄に手記を添える。目を引く見出しやリード分をつけ、読者の視点に立った新聞を作成する。3年次は1人1枚修学旅行新聞を作成する。修学旅行に行き、取材したことを新聞にまとめる。現地に行つてインタビューをしたり、実際に体験し、生の声を記事にまとめる。過去・現在・未来の視点で取材を行ったりした。天声人語の書き出し・要約・意見文。1年次では、天声人語を書き写すのみ。2年次では、書き写し、わからない語句を辞書で調べ、要約。3年次では、書き写し、意味調べ、要約200字、意見文400字に取り組み。

実践例ページから、実践報告書に掲載された当該校の取り組みをPDFデータで見られます。より詳しく取り組みの内容がわかります

「実践報告書」作成

ウェブ公開可の場合

NIE実践報告書 掲載ページ



冊子の報告書がPDFで見られます

実践報告書に掲載された学校の個別の取り組みを、実践例ページでも見ることができるよう、PDFデータを学校別に分割(作業が必要な場合は協会事務局で実施)